



# 増加する梅毒にご注意を！

## 感染症発生動向速報

(令和元年第44週分・10月28日～11月3日)

### 《インフォメーション》

#### ●梅毒

全国の梅毒の年間報告数は、近年急増しています。患者の年代は、男性では20～40歳代、女性では20歳代に多く、若い世代を中心に梅毒の感染リスクが高まっています。県内では今年に入り、既に23例が報告されています。今後の発生動向に注意が必要です(図参照)。

梅毒は、梅毒トレポネーマ(細菌)を原因とする感染症です。妊婦が感染することで胎児が感染する「先天梅毒」と、性交渉の際、梅毒患者の病変部に接することで感染する「後天梅毒」に分けられます。後天梅毒の症状の進行は次の3期に分かれており、**様々な症状の出現と消失を繰り返します。**

**第Ⅰ期梅毒**：感染から約3週間後に感染部位の皮膚や粘膜に硬結ができますが、2～3週間で消失します。

**第Ⅱ期梅毒**：約3か月後には全身に赤い発疹(バラ疹)が出現します。この他に発熱や全身倦怠感、関節痛など様々な症状が出現しますが、数週間～数か月で消失します。

**晩期梅毒**：約3年以上経過すると、皮膚や粘膜、骨を中心としてあらゆる臓器にゴム腫と呼ばれるしこりができ組織を破壊します。また心臓血管の炎症や脳や脊髄に病変を作る神経梅毒も出現し、これらが死につながる場合があります。

早期顕症梅毒(第Ⅰ期と第Ⅱ期)の段階は人から人へうつりやすく、感染者との性交渉を避けることが予防の基本です。完全ではありませんが、**コンドームの使用により感染リスクを低下させることができます。**性交渉後、いつもと違う症状が現れるなど心あたりがあるときは、早めに医療機関を受診し、検査を受けましょう。また、梅毒に感染した人では、そのパートナーも感染している可能性があります。パートナーも検査を受けることが重要です。

### 《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 6件(①～③第43週診断分 ①20歳代、男性 ②20歳代、女性 ③70歳代、女性  
④40歳代、女性 ⑤70歳代、女性 ⑥80歳代、男性)

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 3件(①第43週診断分：10歳代、女性、O157、VT2  
②10歳代、男性、O157、VT1VT2 ③50歳代、女性、O型不明、VT1VT2)

四類感染症 E型肝炎 1件(50歳代、男性)

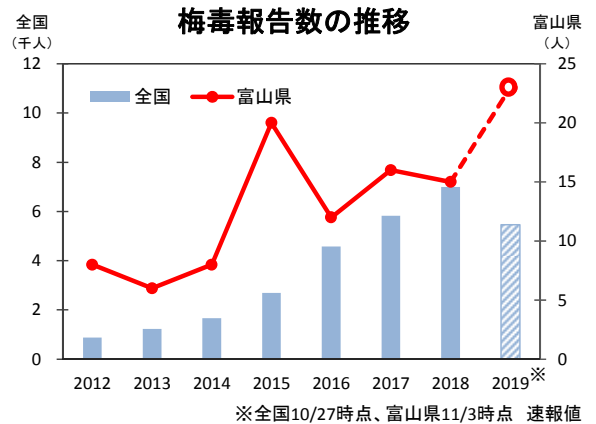
五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 2件(①第43週診断分：70歳代、女性 ②10歳未満、男性)

梅毒 1件(第43週診断分：40歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	3.83(↓)	3.90
2位	手足口病	2.79(↓)	3.00
3位	ヘルパンギーナ	1.90(↑)	1.31
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.52(↑)	1.41
5位	RSウイルス感染症	1.10(↓)	1.24
6位	伝染性紅斑	0.79(↑)	0.76

令和元年11月6日  
富山県感染症情報センター  
(0766-56-5431 直通)  
(0766-56-8142 細菌部)  
(0766-56-8143 ウイルス部)



この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます  
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年第4週 令和元年10月28日～令和元年11月3日）

分類	疾患	今週報告分（第4週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核	1			1	1	3	23	12	50	27	48	160
三類感染症	細菌性赤痢								1				1
	腸管出血性大腸菌感染症				1	1	2		3	7	6	13	29
四類感染症	E型肝炎					1	1	3		2		1	6
	A型肝炎							2					2
	つつが虫病							1					1
	デング熱											1	1
	レジオネラ症							5		14	11	19	49
五類感染症	アメーバ赤痢											4	4
	ウイルス性肝炎									1			1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									4	1	3	8
	急性弛緩性麻痺									1			1
	急性脳炎											2	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									3	3	6	12
	後天性免疫不全症候群											6	6
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	3	2	6
	侵襲性肺炎球菌感染症	1					1	2		10	9	10	31
	水痘（入院例）							1	2			5	8
	梅毒							2	1	2	1	17	23
	播種性クリプトコックス症											1	1
	破傷風									1			1
	百日咳							1	5	74	64	97	241
	風しん								1			3	4
	麻しん									1	2		3
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	1 0.14	1 0.20	4 0.31	8 1.14	8 0.50	22 0.46	1,449	944	3,185	1,723	3,772	11,073
	RSウイルス感染症		3 1.00	12 1.50	2 0.50	15 1.50	32 1.10	44	73	318	122	460	1,017
	咽頭結膜熱	1 0.25		1 0.13		6 0.60	8 0.28	188	22	238	50	203	701
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3 0.75	2 0.67	15 1.88	1 0.25	23 2.30	44 1.52	122	127	692	254	1,114	2,309
	感染性胃腸炎	26 6.50	17 5.67	21 2.63	1 0.25	46 4.60	111 3.83	1,177	926	1,478	481	3,390	7,452
	水痘	1 0.25	2 0.67	1 0.13	1 0.25	3 0.30	8 0.28	20	22	49	17	256	364
	手足口病	6 1.50	17 5.67	10 1.25	5 1.25	43 4.30	81 2.79	236	282	1,106	287	1,518	3,429
	伝染性紅斑		3 1.00	6 0.75	2 0.50	12 1.20	23 0.79	123	79	479	127	697	1,505
	突発性発しん	1 0.25		4 0.50	1 0.25	3 0.30	9 0.31	33	35	198	43	177	486
	ヘルパンギーナ	2 0.50	3 1.00	33 4.13	14 3.50	3 0.30	55 1.90	151	127	370	102	294	1,044
	流行性耳下腺炎							4	7	10	1	24	46
	急性出血性結膜炎										13		13
	流行性角結膜炎							1	10	31	29	10	81
	細菌性髄膜炎									1		4	5
	無菌性髄膜炎							2	1			1	4
	マイコプラズマ肺炎								6	8		1	15
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）							1		8	7	2	18
	インフルエンザによる入院患者（*）							1		2	3	4	10

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。

## インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

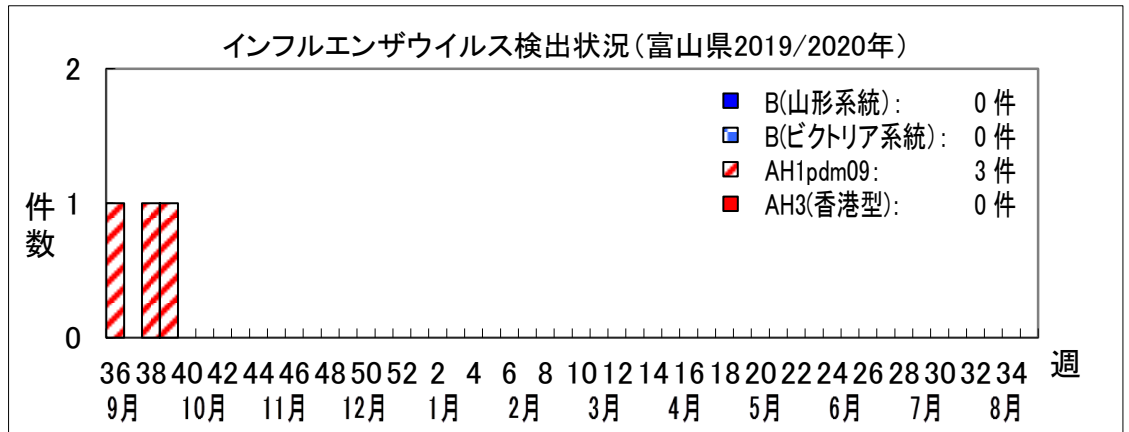
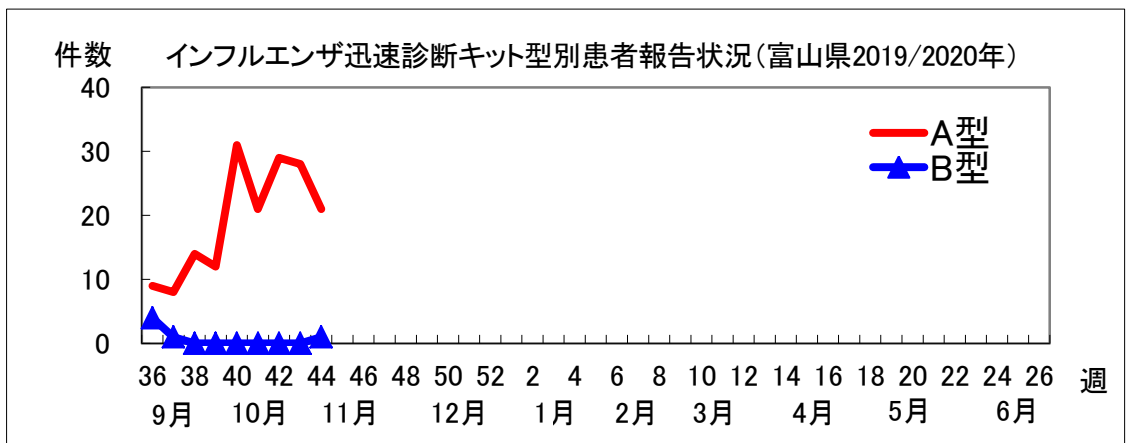
現在、下の表によると、A型が95.5%となっています。

### 第44週(10/28~11/3)：富山県 0.46人/定点

(単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	1 / 7	1	0	0	1
中部	1 / 5	1	0	0	1
高岡	1 / 13	4	0	0	4
砺波	2 / 7	8	0	0	8
富山市	7 / 16	7	1	0	8
富山県	12 / 48 <sup>※1</sup>	21	1	0	22
富山県累計(2019年36週~)		173	6	10	189

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が12か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



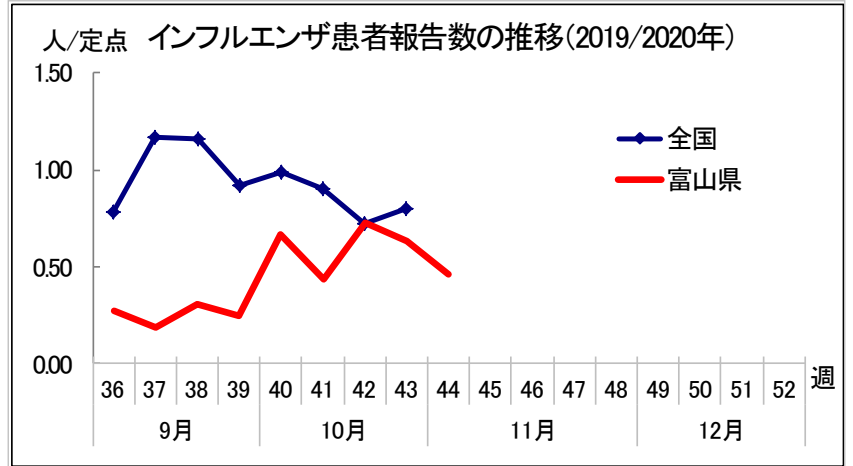


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第44週 (10/28~11/3) : 富山県 0.46 人/定点

新川 HC (0.14)、中部 HC (0.20)、高岡 HC (0.31)、砺波 HC (1.14)、富山市 HC (0.50)

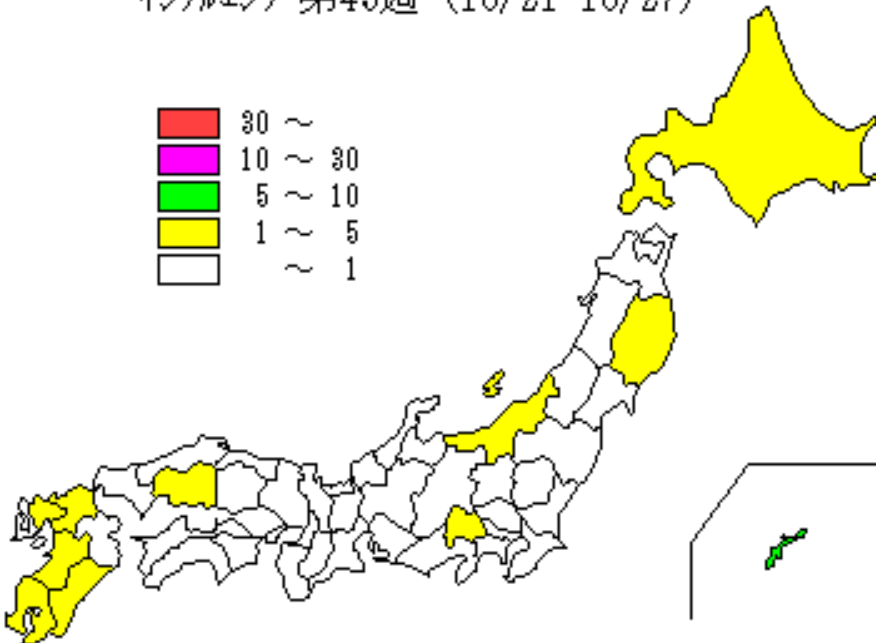
県内のインフルエンザの患者報告数は、先週(0.63)と比べ減少しました。流行入りの目安である定点医療機関あたり 1.00 人を超えていませんが、学級閉鎖が累計 2 件報告されています。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第43週 (10/21~10/27)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 0.80 人となり、前週の 0.72 人より増加しました。32 都道府県で前週より増加しています。14 府県で前週より減少しています。

インフルエンザ第43週 (10/21-10/27)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	1.77	滋賀県	0.37
青森県	0.32	京都府	0.35
岩手県	1.42	大阪府	0.26
宮城県	0.43	兵庫県	0.17
秋田県	0.39	奈良県	0.29
山形県	0.20	和歌山県	0.08
福島県	0.76	鳥取県	0.10
茨城県	0.68	島根県	0.61
栃木県	0.36	岡山県	0.26
群馬県	0.14	広島県	1.36
埼玉県	0.46	山口県	0.51
千葉県	0.79	徳島県	0.19
東京都	0.69	香川県	0.38
神奈川県	0.94	愛媛県	0.54
新潟県	1.73	高知県	0.13
富山県	0.63	福岡県	1.45
石川県	0.92	佐賀県	1.00
福井県	0.16	長崎県	0.64
山梨県	1.05	熊本県	1.13
長野県	0.21	大分県	0.71
岐阜県	0.22	宮崎県	1.83
静岡県	0.58	鹿児島県	1.66
愛知県	0.64	沖縄県	8.69
三重県	0.13	全国	0.80